

アレムコ社の耐熱セラミック接着剤

セラマボンド 571

「セラマボンド 571」はアレムコ社が開発した酸化マグネシウムをベースとした高温対応の新耐熱セラミック接着剤です。金属同士の接着には、万能的に用いられていますが、特に焼却機の制御用センサーなどに塗布されています。

耐熱上限は1,760°C。

特性

「セラマボンド 571」は高温下で使用されるセラミックスや金属部品等の組み込みやコーティング用として最適です。

熱膨張係数は 12.6×10^{-6} in/in/°C、常温での絶縁性は91volts/mil、トルク強度は22ft-lbs となっています。

使い方

「セラマボンド 571」はパウダーとバインダー液を混合して使用するタイプです。

バインダー液1に対しパウダーを1.5の割合(重量比)で混合します。常温で接着加工を行った後、すぐに93°Cで2時間以上焼成します。本品は未硬化の材料は除去が容易で温水で手早くキレイに落とせます。

「セラマボンド 571」は揮発性の有機物を含まない完全無機成分で構成されています。超高真空下でもガスの放出がないので、半導体や航空宇宙製品への採用に際し有利性があります。

適用例

前述の他、以下のような製品の組み込み作業でも使用されています。

- * ヒーター
- * 点火装置やハイパワー抵抗器
- * ガスクロマトグラフや分光計、酸素分析器及び温度探知器、など。

荷姿

荷姿は1パイント(約500ml)と1クォート(約1リットル)で、各々パウダーは缶入り、硬化液はプラスチックボトル入りです。

